

## 事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

キッズボンド佐千原

調査期間：令和 6 年 12 月 ～ 令和 7 年 1 月

回答職員数： 9 / 9 名

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9		0	走り回るスペースがある
	2	職員の配置数は適切であるか	7		2	利用児の人数で調整している
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8		1	段差がない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9		0	学習室と運動室の区別がされている 清掃の時間をとっている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7		2	問題がおきたら会議を開き、改善に努めている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		2	職員と話し合い、改善に努めていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		3	評価結果を基に話し合い、改善に努めていく ホームページで公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6		3	業務改善に努めていく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9		0	研修に参加できない場合には資料コピーで対応している
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		1	モニタリング、アシスト、記録を参考にし、スーパーバイザーの指導のもと、支援計画書を作成している
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		2	「アシスト適応スキルプロフィール」を使用している
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7		2	ガイドラインに沿って、保護者様のニーズも取り入れながら具体的な支援計画を作成している
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		1	沿った支援をしている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		1	職員で話し合い決めている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		2	遊びの内容やイベントなど工夫している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7		2	個別については保護者様の意向を取り入れて、集団では無理のないように配慮している

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9		0	一日の予定や送迎確認等、受け入れ前ミーティングで確認している
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		3	送迎からの掃除や個々の業務でできない時もあるが、次の日に気付いた点や児に合った支援などを職員に伝えている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		0	支援計画の目標を把握しそれに添った支援をし、児童ができたかどうかを記録して改善に努めている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		1	モニタリングを行い、保護者様の意向を取り入れながら、計画の見直しをしている
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		4	児童発達責任者が参加している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		2	関係機関と連携していく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	1	3	学んではいるが、実際に携わっていない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	1	3	実際に携わっていない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		4	情報共有と相互理解に努めていく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		4	情報共有と相互理解に努めていく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		4	研修等に参加していく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	4	4	職員と検討し来年度に機会を設けていく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	1	4	自立支援に向けた会議に参加していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		1	連絡帳、ライン、送迎の際に、保護者様と情報共有している
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7		2	モニタリング時や、保護者会(茶話会)の際に、お伝えしている
保、護	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		1	契約時に説明をしている

	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		2	行っている
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		1	今後も適切に対応していく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8		1	親子イベントや茶話会を開催している
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		1	迅速に対応し、早期解決に取り組んでいる
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		1	毎月「キッズbond通信」を配布し、「フェイスブック」「インスタグラム」をあげている
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		1	写真顔は、スタンプ等で隠している 個人ファイルは、鍵付き倉庫に保管している
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		1	配慮を心掛けている
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		5	職員と話し合っ、検討していく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9			毎月避難訓練を行っている
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		1	月イチ、行っている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8		1	状況は把握している
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		3	保護者様と話し合い、対応している
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			毎月危ないと感じたことを記録し共有している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		1	研修会、委員会で話し合っている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7		2	身体拘束児がいない